

## 2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ  
 コード番号 4820 URL <https://emsystems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國光 宏昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 関 めぐみ TEL 06-6397-1888  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 2022年9月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	8,164	22.4	1,360	133.4	1,603	56.7	1,089	58.4
2021年12月期第2四半期	6,672	5.5	582	△31.6	1,023	△11.7	687	△14.3

（注）包括利益 2022年12月期第2四半期 1,134百万円（59.4％） 2021年12月期第2四半期 711百万円（△13.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	15.35	15.31
2021年12月期第2四半期	9.68	9.65

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第2四半期	24,787	19,088	76.6	268.51
2021年12月期	24,809	18,826	75.5	263.12

（参考）自己資本 2022年12月期第2四半期 18,999百万円 2021年12月期 18,728百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	4.00	—	7.00	11.00
2022年12月期	—	4.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	7.00	11.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,436	13.9	2,431	30.0	2,977	14.2	2,063	12.8	29.07

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	74,514,800株	2021年12月期	74,514,800株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	3,755,549株	2021年12月期	3,335,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	70,960,450株	2021年12月期2Q	71,042,583株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種などの進行により、経済社会活動が正常化へ向けて進む一方、ウクライナ情勢の長期化や外国為替市場の急激な円安進行に伴う物価上昇など、引き続き予断を許さない状況で推移しております。

当社グループの主要取引先である薬局業界におきましては、2021年10月より医療機関などの窓口でマイナンバーカードまたは健康保険証により、オンラインにて資格情報を確認できる仕組の運用開始に、2022年4月の医療制度改革においてもICTの利活用・デジタル化への対応など評価項目の新設などを加え、薬局における対物業務から対人業務への促進強化の動きがより一層強まりました。

その中、当社グループはオンライン資格確認システム設置に必要な部材、人員を確保のうえ、導入予定のお客様への設置を拡大しております。

また、当社グループはお客様数の増加に伴い、課金売上高も増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,164百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益1,360百万円（前年同期比133.4%増）、経常利益1,603百万円（前年同期比56.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,089百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (調剤システム事業)

調剤システム事業につきましては、オンライン資格確認システムの導入設置拡大及び「MAPs for PHARMACY」、既存システム販売件数の増加により、初期売上高及びお客様数の増加に伴う課金売上高も増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の調剤システム事業は、売上高6,500百万円（前年同期比27.4%増）、営業利益1,496百万円（前年同期比153.2%増）となりました。

また、当社グループは薬局・薬剤師の「対人中心への転換」をサポートするシステムとして、「(仮称)MAPs for PHARMACY DX」をグループ会社の株式会社グッドサイクルシステムとの協同開発を開始しました。

#### (医科システム事業)

医科システム事業につきましては、全国的な販売チャネルの拡充を図るべく、クリニックの市場開拓を従来の手法に加え、Webマーケティングを活用し幅広いアプローチを行っております。

オンライン資格確認システムの導入設置拡大により初期売上の増加に加え、既存システムの販売増加及び、「MAPs for CLINIC」などの導入による課金お客様数の着実な増加により、課金売上高も順調に伸びております。一方、医科システム市場におけるシェア拡大に向けた取り組みにより、販管費も増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の医科システム事業は、売上高1,072百万円（前年同期比16.5%増）、営業損失184百万円（前年同期営業損失16百万円）となりました。

#### (介護/福祉システム事業)

介護/福祉システム事業は、ライセンス数の増加による課金売上は堅調に推移しておりますが、前年同期に大型案件の導入があったため、初期売上高は減少しました。また前年同期において想定を上回る介護法改正により、新システム開発要員を改正対応に投入したため、製造原価が増加しておりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の介護/福祉システム事業は、売上高268百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益55百万円（前年同期営業利益4百万円）となりました。

#### (その他の事業)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、薬局事業の売上高及び営業利益は共に減少しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高347百万円（前年同期比2.3%減）、営業損失22百万円（前年同期営業損失11百万円）となりました。

(上記セグメント別の売上高及び営業利益（損失）は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は12,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が241百万円減少したことによるものであります。固定資産は12,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が365百万円増加し、ソフトウェア202百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は24,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,788百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円減少いたしました。これは主に、賞与の支給により賞与引当金が111百万円減少し、支払手形及び買掛金が107百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,910百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。これは主に、リース資産の取得により、リース債務が73百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,699百万円となり、前連結会計年度末に比べ283百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は19,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が561百万円増加した一方、自己株式を344百万円取得したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.6%(前連結会計年度末は75.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期通期の連結業績予想については、2022年2月9日の「2021年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更いたしました。詳細は、2022年8月9日付で公表しております「2022年12月期 第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,289	8,418
受取手形及び売掛金	2,555	2,314
商品及び製品	688	634
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	1,040	995
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	12,574	12,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	604	586
土地	474	474
リース資産(純額)	4	115
賃貸用資産(純額)	2	1
建設仮勘定	72	71
その他(純額)	174	159
有形固定資産合計	1,333	1,408
無形固定資産		
ソフトウェア	1,393	1,191
ソフトウェア仮勘定	732	860
のれん	285	237
その他	109	104
無形固定資産合計	2,521	2,393
投資その他の資産		
投資有価証券	677	1,043
投資不動産(純額)	6,733	6,622
退職給付に係る資産	29	29
その他	955	941
貸倒引当金	△15	△13
投資その他の資産合計	8,380	8,623
固定資産合計	12,234	12,425
資産合計	24,809	24,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	852	744
未払金	465	494
リース債務	4	37
未払法人税等	663	596
賞与引当金	403	292
ポイント引当金	4	—
契約負債	—	1,042
その他	1,773	580
流動負債合計	4,167	3,788
固定負債		
リース債務	1	74
退職給付に係る負債	1,039	1,072
製品保証引当金	50	24
長期預り保証金	724	739
固定負債合計	1,815	1,910
負債合計	5,983	5,699
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,785	2,785
資本剰余金	3,347	3,347
利益剰余金	14,116	14,678
自己株式	△1,539	△1,883
株主資本合計	18,708	18,926
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	69	115
退職給付に係る調整累計額	△49	△42
その他の包括利益累計額合計	19	72
新株予約権	55	55
非支配株主持分	42	33
純資産合計	18,826	19,088
負債純資産合計	24,809	24,787

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,672	8,164
売上原価	3,551	4,051
売上総利益	3,120	4,113
販売費及び一般管理費	2,537	2,753
営業利益	582	1,360
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	190	—
不動産賃貸収入	492	517
その他	4	5
営業外収益合計	688	525
営業外費用		
支払利息	0	4
不動産賃貸費用	235	208
持分法による投資損失	—	65
その他	12	4
営業外費用合計	248	283
経常利益	1,023	1,603
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,021	1,603
法人税等	341	522
四半期純利益	679	1,080
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	687	1,089



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	679	1,080
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	21	46
退職給付に係る調整額	10	7
その他の包括利益合計	31	53
四半期包括利益	711	1,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	719	1,142
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。